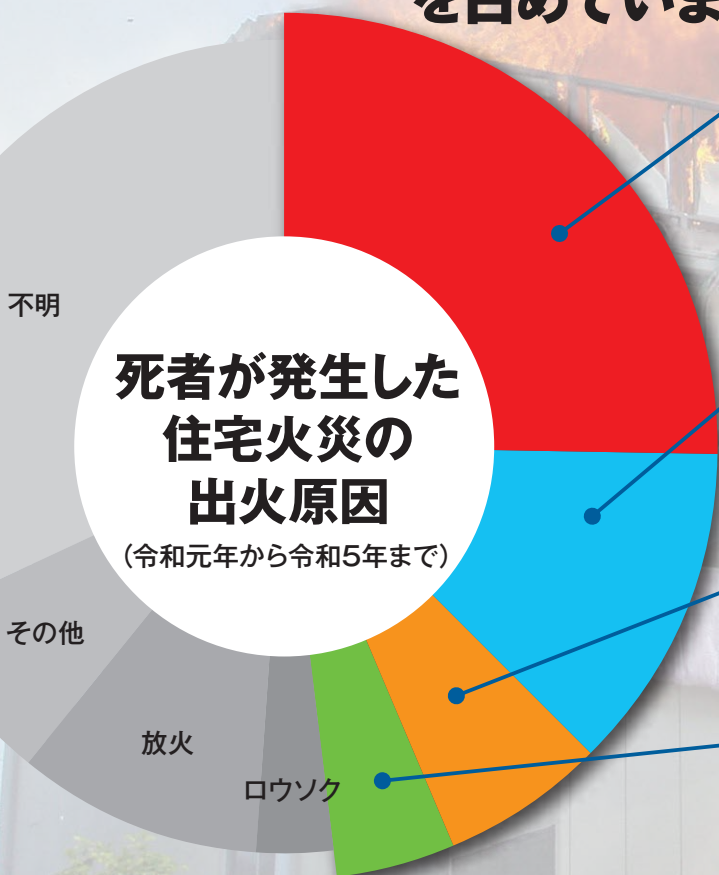


住宅火災による死者 増えています!

東京消防庁管内における令和6年の住宅火災による死者は82名で、過去10年間で最多だった令和元年の83名に次ぐ数を記録しました。目黒区内でも12月及び今年1月と連続で、住宅火災による死者が発生しました。

火災予防運動を機に、ご自宅の火災予防について見直しをお願いします。

たばこ、ストーブ、
こんろ、電気コードで、
全体のほぼ **半数(48%)**
を占めています。



たばこ (25.5%)

寝たばこは絶対にダメ!
吸殻は水に浸して完全に消火



ストーブ (12.2%)

周囲に燃えやすいものを置かない
近くに洗濯物を干さない
外出時・就寝時は必ず消す



こんろ (6.1%)

調理中は離れない
こんろ周りに可燃物を置かない
鍋底から火がはみ出さないように調節



電気コード (4.4%)

家具の下敷きや折れ曲がりに注意
電源タップは容量内で使用
束ねて使用しない



うち、約8割が
電気ストーブ!!!

STOP! 住宅火災



持っていますか?
マイ消火器

自宅に備えて、いつでも使えるようにしましょう!



10年経ったら本体交換 あなたの家の 住宅用火災警報器

故障・電池切れ
してないか、
今すぐ確認!!



「阪神・淡路大震災から30年」～震災への備え～

今から30年前、平成7年1月17日午前5時46分に発生し、死者6,434名（関連死含む）、行方不明者3名、負傷者4万3,792名という戦後最大規模の被害をもたらしました。首都直下地震の発生が危惧される中、今一度、阪神・淡路大震災から学び得たものを忘れず、大災害に備えましょう。

阪神・淡路大震災で倒壊した阪神高速道路(平成7年1月17日撮影) 写真/時事通信社

防災リュックの準備を!!

なにを
どのくらい
用意すれば…



A 「東京備蓄ナビ」を
使ってみよう!!

3つの質問に答えるだけで、ご家庭に合わせた備蓄品目と必要量がわかるリストが表示されます。



東京備蓄ナビ



最低3日間分の
備蓄の用意と、一人
一つ防災リュックの
準備をしましょう。



やってみよう!
ローリングストック



ローリング
ストック

フードロス対策
も兼ねて、期限の近
いものを消費し買
い足す習慣をつけ
ましょう。



避難場所、知っていますか?

いざという時のために、近くの避難所までのルートを確認しておきましょう。災害時の避難所開設状況なども目黒区のホームページで確認できます。



地震だ! してますか?

家具類の転倒・落下・移動防止対策

対策の方法は、東京消防庁ホームページに掲載されている「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」を参考にしてください。

東京消防 検索

